

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3 年 6 月 7 日 更新

事務事業名		少子化対策総合交付金事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	2	福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施 策	5	健康づくりの推進				所属課	健康づくり推進課	担当者名	栗崎 璃香
	施策の柱	21	地域医療体制の充実				所属班	健康推進班	(内線)	1634
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 6	事業連番 11770	根拠法令	母子保健法		
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 31 ~ 5 年度) ☒ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県が令和元年10月から実施している少子化対策総合交付金事業。結婚、妊娠、出産にいたる一連の取り組みを強化し、出生数の増加を目指す。①結婚チャレンジ補助金：婚活イベントを実施する団体に補助金を交付する（事業運営は企画課）。②一般不妊治療費助成：不妊症の夫婦に対して、不妊治療のうち保険外診療である人工授精に要する費用の一部を交付する。③早産予防対策：早産予防のため、妊婦に対する膣分泌物検査、歯周疾患検査に要する費用の一部を交付する。④市町村創意工夫事業：少子化対策に資する事業に対し交付される。※歳入のみ⑤市町村事務費：本交付金事業を実施するための事務費を交付される。
【業務の流れ】	・委託医療機関との契約事務、受診券発行事務、委託料支払事務、受診結果管理、助成事業受付支払い事務 ・補助金申請事務
【主な予算費目】	需用費（一般消耗品、印刷製本費）役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	市独自の不妊治療への助成はないか、出会いの場が欲しいなどの意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①結婚チャレンジ：事業主体は企画課。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。） ②一般不妊治療費助成：申請者数35件、交付決定者数33件 ③早産予防対策：妊婦健診事業での膣分泌物検査 569件、妊婦歯科健診受診者数 230件 ④創意工夫事業については、既存の心理相談事業を計上。相談者数延べ440人		今年度同様、引き続き事業を実施予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア 不妊治療費助成申請者数	人	妊娠届の減少による委託料の減
→ イ 膣分泌物検査、歯周病検査実施者数	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市に住民票を有し不妊症と診断された人及び合志市に住民票を有する妊婦	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ ア 不妊治療費助成を希望する人(申請者)
		→ イ 合志市に住民票を有する妊婦
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合志市の出生数が増える	(単位) 人	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ ア 不妊治療費助成申請者で母子手帳を交付した人
		→ イ 出生数
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠 この事業は少子化対策として出生数の増加を図るためのものであるため、妊娠の成立、早産予防対策が不可欠である。よって、その状況を把握する必要がある。		総トータルコスト 全体計画 ~ 5年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移													
			単位	実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	見込		
① 活動指標	人			5	76	35	60	60	60				
	人			367	920	799	910	910	910				
② 対象指標	人			5	76	35	60	60	60				
	人			305	685	554	630	640	650				
③ 成果指標	人			0	19	18	20	25	25				
	人			367	650	607	630	640	650				
投資 入費 量	事業 内訳	財源	国庫支出金	千円									
			都道府県支出金	千円		909	4,821	3,191	3,826	3,826	3,826		
			地方債	千円									
			その他	千円									
			繰入金	千円									
			一般財源	千円		29,278	67,427	55,719	66,764	66,764	66,764		
	費	(A)	事業費計	千円		30,187	72,248	58,910	70,590	70,590	70,590		
			(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0	
			(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	
	人件 費	人	正規職員従事人数	人		4	4	5	4	4	4		
		時間	延べ業務時間	時間		969	969	438	969	969	969		
		千円	(B)人件費計	千円		3,840	3,860	1,727	3,860	3,860	3,860		
トータルコスト(A)+(B)			千円		34,027	76,108	60,637	74,450	74,450	74,450			

合志市

事務事業名	少子化対策総合交付金事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2年度の後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 令和元年10月から新規で開始された。事業内容（結婚チャレンジ・一般不妊治療・早産予防）については、目標値に至っていない。広報誌やホームページでの周知を継続して実施していく。
	② 3年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 若い世代の転入数の増加が見込まれるため。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 結婚、妊娠、出産にいたる一連の取り組みを強化することで、少子化対策の一助となるため。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似した事業がない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 検査は専門知識と技術を要するため委託しているが、委託料や助成額等の設定は県下統一、もしくは歯科医師会との協議で決定しており、必要経費としては最低限で計上している。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 専門的な内容は医療機関へ委託し、事務的な処理は必要最低限の職員で実施している。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 助成額は県下での統一料金であり、妊婦歯科健診・膣分泌検査は無料のため公平である。 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 専門分野は医療機関への委託、補助金の支払い事務等は行政と分担されており適正である。 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

少子化対策として結婚、妊娠、出産にいたる一連の取り組みを実施し、出会いのきっかけづくりや経済的な支援により妊娠する機会が増え、妊娠中の健康管理を行うことで正産期での出産を迎えることができるように、今後も制度の周知や啓発を行っていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

</